

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No:26-15)

1 8月7日、太平洋諸島フォーラム（PIF）の外相会合がフィジーのスパで開催され、2026年から2030年の地域平和・安全保障行動計画の草案が承認された。この計画は、違法薬物や越境犯罪、人道危機など複雑化する脅威へ対処するためのものであり、パラオで開催される第55回PIF首脳会議で検討される。

[原文](#)

(14th August 2026, Island Times)

2 太平洋諸島フォーラム漁業機関（FFA）が主導する監視活動「オペレーション・アイランド・チーフ 2026」が8月3日から14日の期間で実施され、16隻の船舶が要注意船として特定され、また4隻が拿捕されるなど、最近のFFAによる地域合同監視作戦の中でも大きな成果を挙げた。FFAのパコップ事務局長は、IUU漁業の探知と対処における加盟国等の共同努力の成果を示すものであると評価した。

[原文](#)

(17th August 2026, PACNEWS)

3 豪州とソロモン諸島による共同インフラ整備プロジェクトにより、ソロモン諸島西部に西部国境前哨基地が設置され、8月17日に引渡しと開所式が行われた。同基地は警察、税関、入国管理局、生物安全保障局の機能を集約し、30名の職員が常時勤務できる上、同国のガーディアン級巡視艇を配備できる岸壁を備え、国境警備と海上監視の強化に資するものである。式典には、同国のサデ副首相と豪州のマールズ副首相が出席した。

[原文](#)

(17th August 2026, Solomon Star)

4 シンガポール海事港湾庁（MPA）は8月17日、シンガポール・セーフティ・アット・シー関連イベントにおいて、船舶の動静や事案をリアルタイムで監視する統合港湾運用指揮システムの運用開始を発表した。同システムは、港湾の状況に関する複数の情報源からのリアルタイムデータを統合し、地図ベースのツールに表示することによって、港湾管理における運用の調整、情報共有、リスクの特定、迅速な資源配分を可能にする。

[原文](#)

(18th August 2026, Splash247)

5 米海軍は、パラオのマラカル港周辺において、コロール州政府及び公共基盤・産業省等と合同で、放置船舶 3 隻の撤去作業を開始した。コロール州当局及びパラオ大統領府によれば、同作業はパラオの海洋環境を保護し、公共の安全を向上させることに加え、米軍が港湾での浚渫作業を開始する前の重要な第一歩となるものである。

[原文](#)

(18th August 2026, Island Times)

6 8 月 17 日、インドネシアの国家麻薬取締局や税関などの合同チームは、リアウ州の海域でタンザニア船籍の貨物船を拿捕し、ドラム缶や貯水タンク内に隠されていた液体メタンフェタミン 2.6 トンのほか、150 万本の違法タバコを押収、またミャンマー人乗組員 10 名を逮捕した。これは同国史上最大規模の麻薬摘発の一つである。8 月 8 日にも、リアウ諸島周辺海域でタンザニア船籍の船舶が拿捕され、ケタミン 1.3 トンが押収されている。

[原文](#)

(19th August 2026, SCMP)

7 フィジーは、同国のスバ港から危険度の高い放置船舶 17 隻を撤去するための取組みを開始した。この取組みはフィジー政府とウェイト財団の提携によって設立されたキャプテン・ジョナサン・スミス基金から 100 万ドルの支援を受けて実施するものであり、船舶の撤去に主眼を置くとともに、将来的な船舶放棄を防止するための法的・規制上の改革も支援することとされている。

[原文](#)

(19th August 2026, PACNEWS)

8 マラッカ・シンガポール海峡の協力メカニズムが 19 年目を迎える中、8 月 25 日・26 日にシンガポールで開催された第 17 回協力フォーラムには 125 の国・機関が集結した。沿岸三国のシンガポール、マレーシア、インドネシアは共同の記者発表において、同海峡を“国際海運にとって自由で、開かれた、安全なもの”に維持することを改めて表明した。また、ドミンゲス IMO 事務総長は、同海峡の利用国、業界パートナー及びすべての関係者に対し、同海峡の航行援助施設基金（ANF）への自主的な拠出を含め、協力メカニズムへの支援継続を求めた。

[原文](#)

(25th August 2026, SeaTrade)

[原文](#)

(26th August 2026, Kuehne + Nagel)

9 8 月 12 日に投票が行われたクック諸島の総選挙において、ブラウン首相が率いるクック諸島党が全 24 議席中 13 議席を獲得して単独過半数を確保した。これにより同

党の 5 期連続での政権が確定した。一方、前議会で主要野党だった民主党は議席を全て失い、クック諸島統一党が 4 議席（2022 年の前回から 1 議席増）、無所属候補が 7 議席を獲得した。

[原文](#)

(27th August 2026, RNZ)

10 キリバスでは、将来の政権が外交承認を台湾へ戻すことを阻止するための憲法改正案を議会で採決する予定となっている。同国はこれまで中国と台湾の間で外交関係を 3 回変更しており、直近では 2019 年に中国承認に切替えた。改正案は中国や台湾について明記はしていないものの、「外交関係は国連加盟国または常任オブザーバー国とのみ維持されなければならない」と規定されており、実質的に台湾を除外することとなる。

[原文](#)

(27th August 2026, RNZ)